



スピンドバイク DK-SP726 取扱説明書



この度は【スピンドバイクDK-SP726】をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

- ◎ 本説明書を最後までお読み頂き、内容をよく理解した上で作業等を行うようにして下さい。
 - ◎ 本書の巻末に「保証書」がついていますので、送り状の控えや購入日がわかるものとともに手近なところに保管して下さい。
 - ◎ ご不明な点がある場合その都度読み直して頂き、正しくご使用下さい。
 - ◎ 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。
 - ◎ 計測数値等に関しましては、誤差がございますので御了承ください。
 - ◎ 本製品は1台ずつ組み立てて検品しているため、製品上に組傷がございますが、ご了承下さい。
- 組立の際には必ず2名以上で行い、できれば市販の工具をご用意いただくことをおすすめいたします。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告

☆使用上の警告

- 1 無理をせず軽い負荷・遅いスピードから始めて下さい。
- 2 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医者にご相談下さい。
- 3 お子様、本機を使用したり、遊ばないようにして下さい。また、お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 4 お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 5 内部点検や修理の際は販売店の指示に従って下さい。各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。
- 8 横向き・後ろ向きでご使用にならないで下さい。
- 9 裸足でのご使用はせず必ず、靴を履いて運動を行ってください。その際、紐等がペダル等にかみつかないように処理してから行ってください。
- 10 フライホイールが高速で回転しますので、運動中は使用者以外、絶対に近づかないで下さい。特にお子様やペット等のいらっしゃる方は充分注意をしてください。
- 11 ペダル等が動いている間はペダルから脚を外さないようにして下さい。
- 12 本製品には「ハブ」がついていないので、止める際には、「テンションノブ」を押すかまわして減速させてから止めるようにして下さい。
- 13 高速時には「立ちこぎ」は行わないで下さい。



注意

☆使用上の注意事項

- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことにより胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 4) 本機は一般家庭用のトレーニング機として作られていますので、一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。（ご使用の場合は無償修理交換の対象外になります。）
- 5) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 6) 適合身長（約150～185cm）以外のご使用にならないで下さい。
- 7) 体重が100Kg以上の方はご使用なさらないようにして下さい。
- 8) 60分以上の連続使用はしないでください。
- 9) サビの発生や負荷の調節不調は故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外の設備（屋根付ガレージ・床面がコンクリート敷き等）や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く

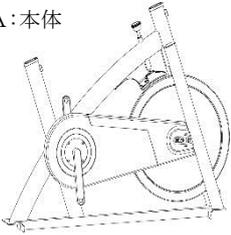
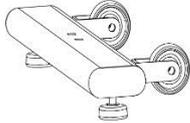
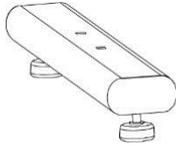
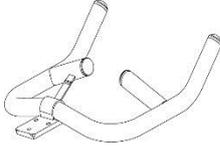
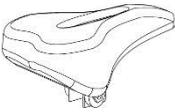
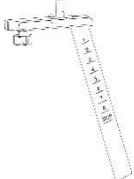
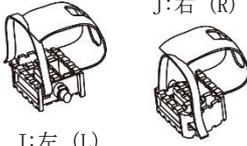
☆保管上の注意事項

- ご使用前にはハンドル・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 本体には絶対に寄りかかったり、傾いた状態で乗らないで下さい。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。
- ペダル及びベルト、サドル、ハンドルのラバー、ノブボルト、アジャストレバー、ストッパーは消耗品のため、ご購入日より3ヶ月以上経過したものについては有償となります。

パーツ早見表

パーツ表の中には本体に装着されているものがあります。

ステップごとに必ず確認してから組立てをおこなってください。

<p>A:本体</p> 	<p>B:フロントスタンド (キャスター付)</p> 	<p>C:リアスタンド</p> 	<p>D:ハンドル</p> 	<p>E: ハンドルステー</p> 
<p>F:サドル</p> 	<p>G:サドルステー</p> 	<p>H:ホルダー</p> 	<p>I:パネル</p> 	<p>J:ペダル J:右 (R) J:左 (L)</p> 



製品仕様

品名: スピンバイク

型番: DK-SP726

本体重量: 37kg

本体サイズ: W52×L120×H113(cm)

フライホイール重量: 13kg

材質構造: スチールパイプ・ウレタン・ABS樹脂

負荷方式: 摩擦式(無段階)

パネル使用電源: 単四乾電池 2本(マンガン乾電池)

使用者体重制限: 100kg

生産国: 中国

組立方法

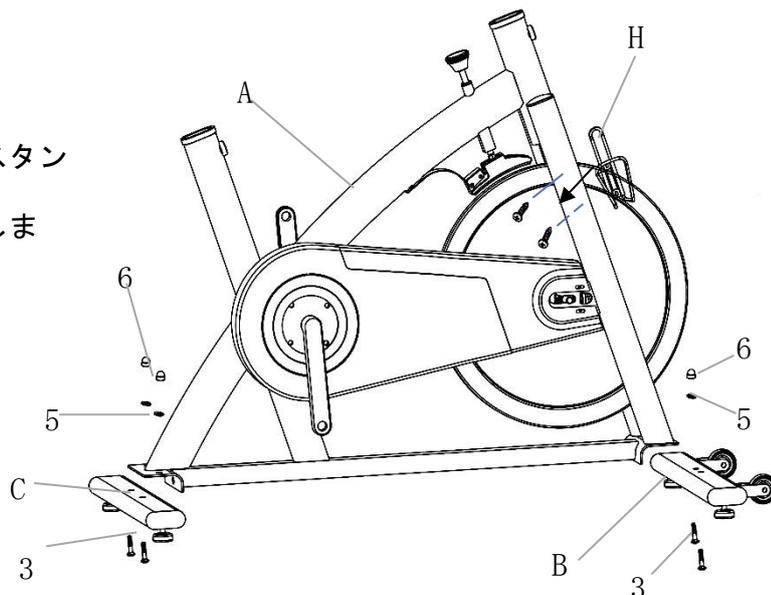
*ステップ1から順番に組み立ててください。(1・本体についているボルト等が欠落している場合がありますので、梱包されていた箱の中も確認してください。2・パーツにボルト等がついていることがございますので、必ず作業を行う直前にはずしてください。*先に外してしまうとどの部分のボルトかわかりかねますので必ずお守りください。)

本体重量がありますので、必ず2名以上の大人の方で作業を行ってください。

ステップ1

<1>A: 本体にB: フロントスタンド、C: リアスタンドを3: ボルト、5: ワッシャ、6: ナットで固定します。

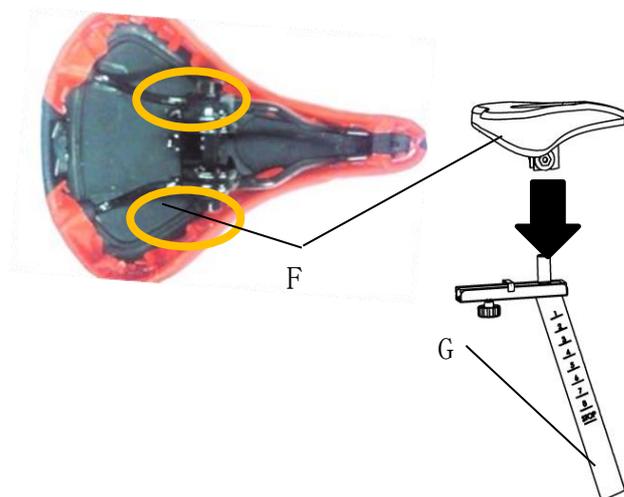
<2>A: 本体にH: ホルダーをビスで固定します。



ステップ2

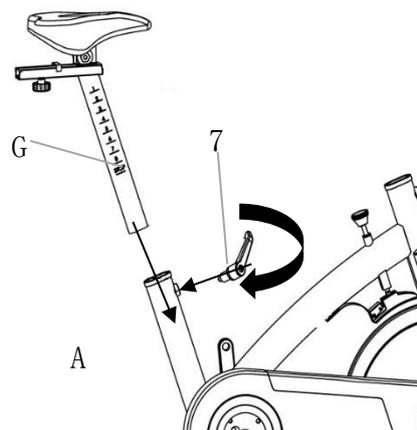
<1>F: サドル裏の右図○印のナットを緩め
(ナットは緩めるだけです。外さないようにしてください。)

G: サドルステーの凸部に挿入し、
○印のボルトを締めて、F: シートを固定します。



<2> <1>で組立てたサドルステー部を

A: 本体に差込、7: アジャストレバーを本体にねじ込み、任意の位置で固定します。

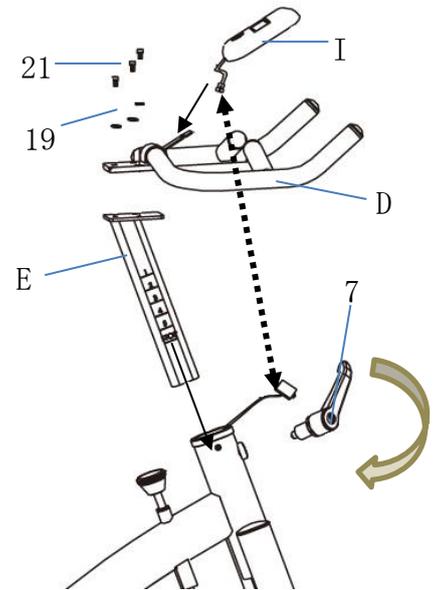


ステップ 3

<1>E：ハンドルステーをA：本体に差込、7：アジャストレバーで仮に固定しておきます。

<2>E：ハンドルステーにD：ハンドルを21：ボルト、19：ワッシャで固定します

<3>D：ハンドルの凸部分にI：パネルの溝にあわせて差込、I：パネルから出ているコードとA：本体から出ているコードを接続します。

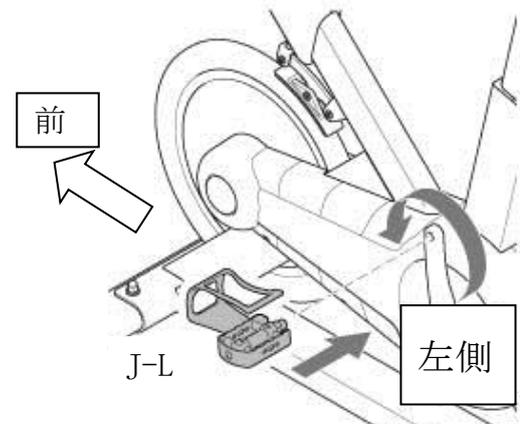


ステップ 4

左右それぞれのJ：ペダルをA：本体に固定します。

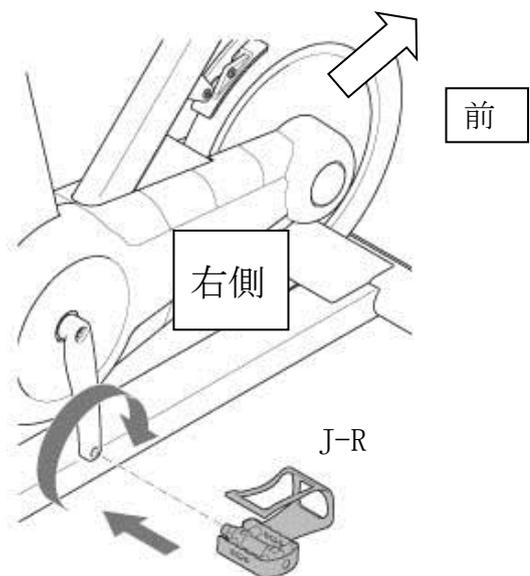
左側（L）のペダルは左回りに、右側（R）のペダルは右回りでねじこんでください。（*左ペダルはL、右ペダルはRのマークがありますので間違えないように確認して取り付けてください。左右間違えますとネジ山が破損し取り付けができなくなりますので注意して組み立ててください。）

*ペダルの締め込が緩いとガタつきますので、しっかりと締めつけてください。



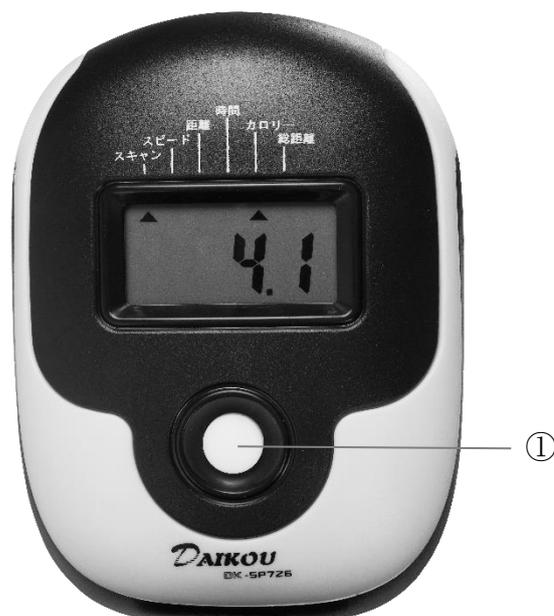
J-L：ペダルは左まわしで固定します。（右まわりに回しますと、ネジ山が破損します）

ペダルは垂直に凹部に合わせてから、回すようにして下さい。
(斜めに回すとネジ山が潰れてしまいますので、注意してください。)



パネルについて

*運動を行わない、パネルを触らない状態が約4分間続きますと自然と消灯します。



①モードボタン・・・1回押すごとに表示が切り替わります。

(スキャン→時間→スピード→距離→カロリー→総距離→スキャン)

長押しをすることにより総距離以外の表示が「0」になります。

スキャンとは・・・スキャンに▲が表示されている時、約4秒ごとに

時間→スピード→距離→カロリー→総距離の順に自動で切り替わります。

時 間・・・運動した時間が表示されます。

スピード・・・漕いでいる速度が表示されます。

距 離・・・運動した距離 (km) が表示されます。

カロリー・・・運動した簡易消費カロリーが表示されます。

総距離・・・今までに運動をした距離が表示されます。(乾電池を入替えた場合に「0」になります。)

* 運動を始める前に必ず負荷調整・緊急停止が確実に機能しているかを確認してから運動を始めてください。

負荷調整方法

負荷の調節は、テンションノブを回すことで好みの負荷にすることができます。

- * (+) 方向に回しますと負荷が重くなり
 - (-) 方向に回しますと軽くなります。
- ただし、(+) 方向に回しすぎると、フライホイールが回らなくなります。



緊急停止について

緊急停止をする場合には、テンションノブを強く押すことにより、ブレーキがかかります。

- * 負荷が重い場合にはブレーキがかかりにくくなります。

* 今まで漕いでいたスピードでフライホイールがまわり、同時にペダルも回り続けますので、
終わる際には「テンションノブ押す」か「<+>方向に回して」終わるようにして下さい。

テンションノブ

ストッパー部



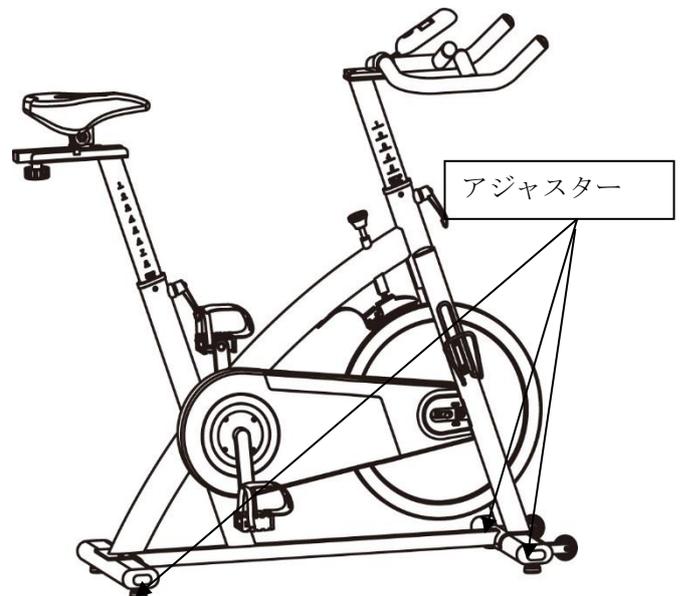
ストッパー部は消耗品です。負荷調整・緊急停止の効きが悪く感じたらすぐに交換してください。

※負荷をフライホイールに接触させて漕ぎ出すと音が出る場合がございます。
その際はストッパー部多少動かすことにより軽減することがございます。

段差調整方法

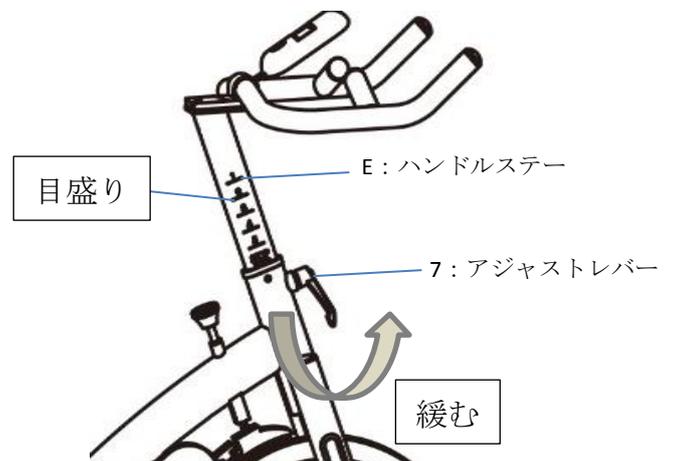
フロントスタンド・リアスタンドについているアジャスターを回すことにより安定した状態を保つことができます。

* 水平でない場合、本機が転倒する恐れがありますので、必ず調整を行ってください。



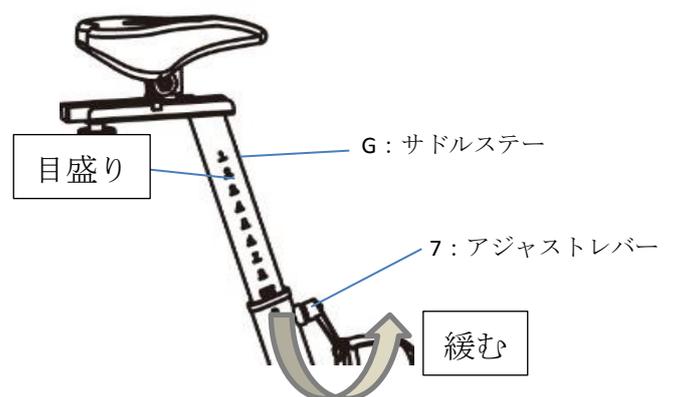
ハンドル高さ調整

7: アジャストレバーを緩め、E: ハンドルステーの目盛りを参考にお好みの高さに調整し、7: アジャストレバーを締めて固定します。



シート高さ調整

7: アジャストレバーを緩め、G: サドルステーの目盛りを参考にお好みの高さに調整し、7: アジャストレバーを締めて固定します。



サドル前後調整

サドル前後調整ノブを緩め、シートを任意の位置に調整し、シート前後調整ノブを締めて固定します。



故障かなとおもったら

下記のような症状が起こった場合に、故障と判断される前に下記の点をお調べください。

症状	原因	処置
本機が安定しない	水平に設置されていない	8ページのアジャスター調整方法を参照して水平を保つようにして下さい。
ホイールの動きが重い感じがする	テンションノブが (+) に回し過ぎている。	(-) の方向に回して緩めます。
サドルが安定しない	サドル裏のボルトや調整ノブを確実に締めていない。	4、8ページを参照して増す締めしてください。
左ペダルが取り付けられない	ペダルの回す方向を間違えている	5ページ組立方法のステップ4を参照してください。
漕ぐと音がする	ストッパーとフライホイールがこすれる音	ストッパーとフライホイールの設置がずれている可能性があるため、ストッパー部をあげてフライホイールにまっすぐになるように修正してください。
音がする	ガタつき・きしみ音がする	4、5、8ページを参照して各ボルト等を締め直してください。アジャスター等の調整を行ってください。
ディスプレイが勝手に変わる	「スキャン」モードになっている	モードボタンを押し、「スキャン」モードを外してください。
ディスプレイが見づらい	電池が弱くなっている	電池を交換してください。

★ お手入れ上の注意

- ・ 汚れや使用後の汗等は、必ず布等で拭き取ってください。
- ・ 水分を掛けたり、シンナー・ベンジンなどで拭くと故障の原因になります。
- ・ 長期間使用しない場合には本機を布やビニールで覆ってください。
- ・ フライホイールにコーティングが施してありますが、使用を重ねていくうちに錆が発生することがあります。
錆が広がらないようにこまめに掃除をするようにして下さい。

使用する前に各ボルトに緩みがないかを必ず点検してください。

緩みがある状態で使用した場合、破損する可能性があります。

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。
この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	家庭用 スピンバイク DK - SP726
保証期間	お買い上より1年間
お買上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所	
TEL	— —

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、輸入販売元にご依頼ください。その際、本書の有無をご連絡ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 設置場所等の床面などの損傷
 - 本保証書の提示がない場合
 - 屋外にて修理を行う場合（建物の外、軒下、集合住宅の共用部等を含む）
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 一般家庭以外、施設等で使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にての対応になります。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品については運賃、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票や購入日が証明できるものがある場合にはその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

* 携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれません。

受付時間：平日AM10～PM12時、PM1～5時までになりま

輸入販売元 大広 株式会社
(<http://www.daikou-dk.com/>)

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間 (平日AM10：00～PM5：00) 土・日・祝日休み